

2019 年度事業計画（案）

はじめに

日本子どもの本研究会は 2017 年に会創立 50 周年を迎えるとともに、任意団体から一般社団法人日本子どもの本研究会（以下当法人）として新たに出発した。2018 年度総会は第 2 回（通算第 51 回）とする。2019 年度は、これまで同様に法人としての組織整備と効率的な運営を心がけ、財政の健全化と新規会員獲得のための有効な手段を講じ、会の発展へとつなげる。

【基本方針】

近年子どもの読書環境は大きく前進してきた。これは子どもの読書を主導的に推進してきた教員、学校司書、図書館司書、地域文庫主宰者など、さまざまな形での地域や現場での草の根的な働きかけとともに、2000 年の子ども読書年を機に国や行政による法整備と財政支援が浸透してきた結果と言える。しかし一方では、子どもの相対的貧困率増大が大きな社会問題となり、子どもの生育環境における格差と将来にわたるその深刻な影響が指摘されている。他方、電子機器やソーシャルメディアの目覚ましい普及と低年齢化が進み、10 代後半の電子書籍利用率も 6 割を越えるなど、既に子どもたちの生活にスマートフォンは必須アイテムとなっている。そしてこうした流れに取り残されている子どもたちも一方で存在する。目まぐるしい社会情勢の変化や、一律に捉えられない子どもの生育環境の激変を冷静に見据えながら、子どもの読書の質と子どもの本の研究に一層取り組み、当法人の特徴を生かした事業を展開していきたい。

A. 子どもの読書活動の推進とそれに関わる研究

1. 図書選定事業
2. 機関誌発行事業
3. 各賞選考と表彰事業
 - ① 第 3 回実践・研究賞と 2019 年度の募集
 - ② 第 3 回作品賞と 2019 年度の選考
 - ③ 永年会員および名誉会員の顕彰
4. 研究出版物の発行事業

B. 事業計画

1. 全国大会開催事業

第 51 回全国大会は、7/27・28 の 2 日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催予定。参加者予想人数は 550 名。宿泊予定は 70 名。

記念講演 長谷川義史 閉会全体会講演 細江幸世

ワークショップ(4)	作品賞受賞作を語る	読書推進計画	入門ブックトーク	入門アニメーション
読書会(5)	絵本	幼年文学	児童文学	科学
	ヤングアダルト			
夜のつどい(8)	読みきかせ	語り	紙芝居	平和
	科学あそび	「子どもの本棚」	子どもの居場所	
分科会(10)	絵本	乳幼児と絵本	小学生と読書	中高生以上の読書
	特別支援と読書	科学・NF	探究的な学び	地域と読書
	学校図書館	図書館と出版		

子どもプログラム、保育有

2. 研究活動事業

日程	名称	場所	参加予定
2019年4月～ 6月 計5回	子どもの本の学校 みなと校	港区生涯学習センター —	220名
2019年9月～ 12月 計5回	子どもの本の学校 多摩校	多摩市立関戸図書館	140名
秋に予定	学校図書館のつどい 学校図書館の今日的な課題を取り上げ、議論できる場として開催予定	未定	60名
2019年2月	会員研修	国立オリンピック記念 青少年総合センター	60名

3. その他の事業

- ① 支部の活動
- ② 研究部の活動

C. 運営上の重点目標

1. 健全な財政の確立
2. 適正な管理体制の整備
3. 研究活動の充実と発展
4. 地方との連携・協力の推進

2019 年度役員
(理事 10名 監事 2名)

理事	石井 啓子
理事	鎌田 和宏
理事	小池 淑子
理事	小寺 美和
理事	近藤 君子
理事(代表理事・副会長)	代田 知子
理事	鈴木 研
理事	滝脇 れい子
理事	永利 和則
理事	中村 善子
理事(代表理事・会長)	野口 武悟
理事	福田 晴代
理事	水越 規容子
理事(代表理事・副会長)	渡部 康夫
理事	〇〇〇〇
監事	川口 弘美
監事	中山 美由紀